

「教育参考館」は、昭和11年に海軍士官や財界等から寄付金によって建てられました。現在では、海上自衛隊員の心の勉強をする場として使用されており、館内には旧海軍に関する1万6千点の収蔵品の内、約1,000点を展示しております。

教育参考館主要展示品の紹介について

東郷元帥顕彰室

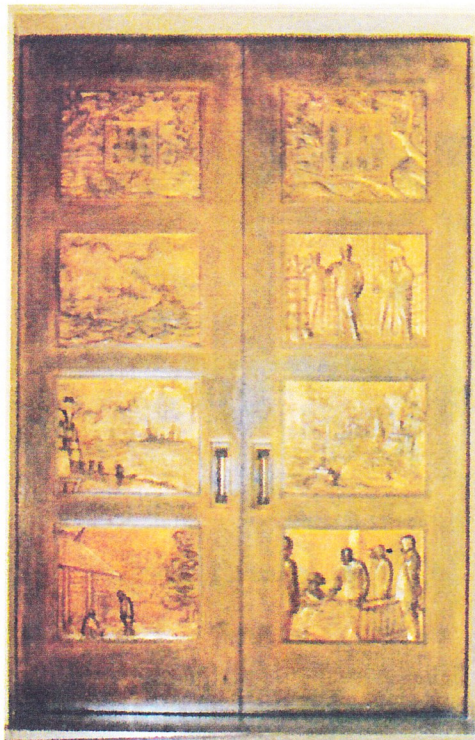


元帥 海軍大将 東郷平八郎

東郷平八郎元帥は、日露戦争時（明治37年～38年（1904～1905））の連合艦隊司令長官です。

東郷元帥は、明治38年5月27日～28日の日本海海戦において、帝政ロシアの主力艦隊であるバルチック艦隊に、世界の海戦史上まれにみる完全勝利を収めました。

東郷元帥は、昭和9年（1934）5月30日に86歳で亡くなり、世界三大提督（イギリスのネルソン提督、アメリカのジョンポール・ジョーンズ提督）の一人とされ、国葬が行なわれました。



東郷元帥遺髪室正面扉

遺髪室正面扉は、日露戦争における日本海海戦の主要な場面を描写しており、下絵は東京美術学校（現 東京芸術大学）助教授の伊原宇三郎氏が描き、長崎平和の像を制作した北村西望氏（日本美術院会員）が彫刻したものです。

連合艦隊解散の辞の一節	Z旗に付与された電報文
バルチック艦隊正面で方向転換中の連合艦隊	旗艦「三笠」艦上の東郷元帥と参謀
ロシア軍艦「ニコライ一世」の降伏	バルチック艦隊撃破
伊勢神宮への戦勝報告	東郷元帥が佐世保病院にロジェストウェンスキー提督を慰問

絵画「正気放光」



横山大観作 「正気放光」

「正気放光」とは、大観の郷里である水戸の志士、藤田東湖の「正気の歌」からとり、画題としたものです。

四海を雲海に包まれ、太平洋と日本海の波濤に囲まれた富士山は、太平洋戦争開戦当時の日本国の象徴として描かれています。

第29回院展の出品作品で、院展終了後、海軍兵学校に寄贈されました。

海軍特別攻撃隊



御厨純一作 「神風特別攻撃隊敷島隊」

最初の特攻隊である、神風特別攻撃隊「敷島隊」が出撃直前に水盃を交わすところを描いたものです。

「敷島隊」は昭和19年10月25日の朝、フィリピン群島マバラカト基地からレイテ湾に向けて出撃しました。



海軍特別攻撃隊員の遺書

昭和16年(1941)12月8日の真珠湾攻撃等の特殊潜航艇乗員28英霊、泊地襲撃等の回天特別攻撃隊員80英霊、昭和19年(1944)10月25日の「敷島隊」に始まり「大和隊」「朝日隊」「山桜隊」の神風特別攻撃隊2,525英霊、計2,633英霊、平均年齢19.8歳という若い青年が海軍特別攻撃隊として戦死されました。